

■寄せられた意見に対する対応（意見総数 594 件）

件数	寄せられた意見	意見に対する対応
73 件	1. P I の取組みに関する意見	
(20 件)	1) P I の進め方に関する意見 ・ P I の取組みを支持する意見 ・ P R を継続し、活動を更に盛り上げてほしいという意見	○ P I は公共工事の施策を立案する過程で地元住民などから幅広く意見を募り、計画決定に活かしていく手法です。現在の計画を進める場合には、今後も伊平屋・伊是名両村をはじめ県民の皆様に必要な情報を提供し事業の透明性の確保に努めていきたいと考えています。
(53 件)	2) 調査報告書に関する意見 ・ わかりやすかったという意見 ・ もっと具体的な内容が知りたいという意見 ・ わかりやすい内容にしてほしいという意見	○ 調査報告書の作成にあたっては、伊平屋・伊是名両村をはじめ県民の皆様のご理解が深まるよう、必要な情報を出るだけわかりやすい内容で表現するよう努めました。なお、今回のご意見を踏まえ、十分理解しやすい内容で情報提供できるよう努めていきたいと考えています。
22 件	2. 空港計画に関する意見	
(10 件)	1) 空港計画に期待する意見 ・ 施設規模は適切だとする意見 ・ 立派な施設を作って欲しいとする意見 ・ 良く考えられた空港計画だとする意見	○ 現在、那覇－伊平屋路線の将来航空需要は約 3 万人を見込んでおり、航空機材は DHC-8 型機（39 人乗り）の 1 日 2 往復を想定しています。施設計画としては、滑走路（1,180m）、エプロン（2 バース）、旅客ターミナルビル等を計画していますが、事業実施段階で施設の適正規模の詳細な検討を行います。
(7 件)	2) 空港施設に関する意見 ・ 滑走路長を決めた経緯や航空機材の想定を詳しく知りたいという意見 ・ 滑走路長の短縮を検討してほしいという意見	○ 那覇－伊平屋路線の航空需要を予測した結果、同路線の就航機材には DHC-8 型機（39 人乗り）を想定していることから、滑走路長はこれまで 1,200m で計画していました。しかし、島の文化財（拝所）を残し、海上部の埋立を極力少なくする観点から、滑走路を当初計画より 20m 短縮し 1,180m としました。なお、航空会社には、この滑走路長でも DHC-8 型機が安全に飛行できることを確認しています。 ○ DHC-8 型機（39 人乗り）の運航において、さらに滑走路を短くすることは、搭乗可能な人数、搭載可能な貨物量に制限が加わる可能性が高まると考えられます。
(5 件)	3) 空港配置に関する意見 ・ 空港候補地が野甫島となった経緯を知りたいという意見	○ 伊平屋島は、狭小な地域に賀陽山（標高 294m）等の標高 200m 以上の山々が連なっており、急峻な地形が大部分を占めます。また、限られた平野部は集落や主要産業である農業で利用されています。一方、野甫島は高い場所でも標高 40m 程度で、比較的なだらかな丘陵地となっています。そのため、伊平屋村全域を対象とした適地調査では、伊平屋島においては海上案、野甫島においては陸上案を伊平屋空港の候補地として選定し、前泊地先、島尻地先、野甫島の 3 案を検討しましたが「飛行機の安全運航」「周辺地域への影響」「建設工事の規模」「自然環境への影響」など様々な条件を比較評価した結果、総合的に優位である野甫島を選定しました。

	<ul style="list-style-type: none"> ・環境面を考えると丘陵地帯に空港を計画したほうがよいという意見 ・滑走路方位は南北方向がよいという意見 	<p>○島の丘陵地帯に空港を配置すると、島の景観が損なわれるほか、用地造成にかかる土工事が増加し、建設コストも大きくなると考えられます。</p> <p>○現地での気象観測の結果、候補地における一年を通じた恒風は北東方向です。現在の滑走路方位（東北東）でも、DHC-8型機（39人乗り）の運航において、風向きの影響による就航率の低下は小さいと考えています。また、南北に配置するとなると、できるだけ埋立面積を減らすために野甫島の中央部に配置することになり、その結果、島を分断するため望ましくないと考えています。</p>
384件	3. 空港計画の妥当性に関する意見	
(18件)	<p>1) 航空利用者の見込みを詳しく知りたいという意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・需要予測の根拠を知りたいという意見 ・航空利用者数について疑問視する意見 	<p>○航空需要予測は、まず、社会経済指標などから将来の伊平屋・伊是名と本島間の「地域間の旅客流動量」を予測しました。次に、将来の伊平屋・伊是名と本島間の交通サービス水準（所要時間・費用・提供座席数）の想定から航空・船舶の「交通機関分担率」を予測しました。伊平屋と那覇路線の航空需要予測値は、「地域間の旅客流動量の予測」と「交通機関分担率の予測」を乗じて算出しています</p> <p>2015年度：2.9万人／2020年度：2.9万人／2025年度：3.0万人／2030年度：3.1万人</p>
(20件)	<p>2) 費用便益分析結果を詳しく知りたいという意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な前提条件、算出結果を知りたいという意見 ・分析結果が信じられないとする意見 	<p>○費用便益分析は、国が示している「空港整備事業の費用対効果分析マニュアル Ver.4」に基づき算出しています。なお、以下の内容は現段階におけるものであり、今後実施する事業化に向けた検討のなかで見直すこともあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■需要予測：年間約3万人（上記の予測結果を採用） ■利用者便益：約65億円 ■総費用：約33億円 <p>（建設条件：事業費：約40億円（工事期間6年間）／評価期間：建設期間+50年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ■費用便益比：2.0
(24件)	<p>3) 航空路線の開設・維持に関する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線の収支を心配する意見 ・路線の廃止を心配する意見 ・観光振興を含めた総合的な取り組みが必要だとする意見 	<p>○航空会社の意見によると、伊平屋路線の開設にあたり、採算性の面からは充分な需要が必要だとしています。伊平屋路線の開設・維持には、両村の積極的な利用ほか、観光などで島を訪れる利用者を増やすための地元の取り組みが重要になると考えています。</p>
(71件)	<p>4) 空港整備による効果を期待する意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動時間の短縮効果に期待する意見 ・交通の代替手段が得られることに期待する意見 ・島の生活に安心感が増すことに期待する意見 ・観光客をはじめとする入り込み客の増加に期待する意見 ・経済・産業の振興など島の活性化を期待する意見 	<p>○伊平屋空港の整備による効果には、輸送手段の安定性の確保、島の活性化、産業の振興などがあげられます。伊平屋空港は伊平屋村と伊是名村の村民が将来にわたり安心して島で暮らせるための社会基盤と考えおり、伊平屋・伊是名地域における空港整備は必要であると考えています。</p>

(77 件)	5) 空港建設の必要性を疑問視する意見 ・ 空港は必要ないとする意見 ・ 空港そのものを維持できるかが心配とする意見 ・ もっと他のことに税金を使うべきだとする意見 ・ 空港建設によって村や住民の負担が増えることが心配だとする意見	○伊平屋・伊是名両村から県庁所在地の那覇市までは、フェリーを利用して約 4 時間かかるばかりでなく、台風等によりフェリーの欠航が多いため、住民生活や地域の経済活動等に大きな影響を及ぼしています。このような両村が抱える課題の解消と地域活性化を図るためには、移動しやすく安定的な代替交通手段として航空ネットワークが必要と考えています。
(154 件)	6) 空港建設は必要又は早期実現を要望する意見 ・ 一日も早い開港を望む意見 ・ 島の発展、島の生活には空港が必要とする意見	○今後の取り組みとしては、空港整備の必要性を疑問視する声に対してさらに丁寧な説明を行うとともに、飛行方式の設定や路線の開設の可能性なども含めて、空港整備の事業化に向けて取り組んでいきます。なお、建設の際には県が事業主体となります。
(20 件)	7) 伊平屋・伊是名間の移動手段の整備が必要とする意見 ・ 両村を結ぶ橋が必要だとする意見 ・ 定期船の実現が必要だとする意見 ・ 定期船の料金には補助が必要だとする意見	○需要予測では、伊是名村から約 1 万人の旅客を見込んでおり、両村間の円滑な移動を確保することが前提となっております。両村を結ぶ交通手段については、両村の行政や関係者で構成される「伊平屋・伊是名定期航路等連絡協議会」が、定期的な船舶航路の実現を目指して検討しています。なお、沖縄県ではその拠点となる野甫港や内花港の再整備に着手しています。
2 件	4. 航空機騒音の影響に関する意見	
(1 件)	1) 航空機騒音の影響の心配がないので安心したという意見	○航空機騒音は DHC-8 型機 (39 人乗り) が 1 日 2 往復することを想定して予測しており、騒音の範囲は空港用地から僅かに広がる程度であり、航空機騒音による日常生活への影響は少ないと考えられます。
(1 件)	2) 少しでもうるさくなるのは困るという意見	
53 件	5. 自然環境への影響に関する意見	
(43 件)	1) 自然環境への配慮を要望する意見 ・ 海上部の埋立てをやめる、又は対策を検討した方がほうという意見 ・ サンゴ・自然海浜など自然環境の保全に配慮して欲しいという意見 ・ 空港ができて観光が盛んになると自然が壊されることを不安視する意見	○伊平屋空港の整備事業は、沖縄県の環境影響評価条例に基づく環境アセスメントの評価対象事業に該当します。環境アセスメントとは、事業実施前にその事業が環境に及ぼす影響について調査、予測及び評価を行い、その結果を公表し、住民等や行政の意見を聴き、それらを踏まえてその事業を環境保全上より望ましいものとする仕組みです。今後実施予定の環境アセスメントにより、自然環境に与える影響や保全対策について、詳細に検討していきたいと考えています。
(10 件)	2) 自然環境を重視し空港建設に対して否定的な意見 ・ 自然が壊されるくらいなら空港はいらないとする意見 ・ 船だけで充分だとする意見	
60 件	6. その他	
(19 件)	1) 航空サービスに対する要望に関する意見 ・ 航空運賃を安く設定して欲しいとする意見 ・ 週末に便数を多くして欲しいとする意見 ・ 機内サービスに期待する意見	○航空サービスに対する要望は、現在の計画を進める場合には、みなさまから頂いたご意見・要望を踏まえ、伊平屋空港協議会が中心となって航空会社に要望していきます。
(10 件)	2) 両村の人々の考え方を尊重するという意見	
(31 件)	3) その他	